

平成 27 年度第 3 回目

平成 27 年 9 月 19 日（土）午前 10：30～11：30

議題①活動報告・事故報告

議題②

議題①活動報告・事故報告 Q&A

*サマーボランティアの小学生は学校はどちらからか？

→草牟田小学校。認知所サポーターが来校して講座があったということだ。

*孫もそういった機会に参加させたいが取り組みについては知らなかった。

→市の社協が毎年開催している。各小・中学校には案内が行っていると思われる。学校ごとに関心の高さがことなると情報に触れる機会に差があるかもしれない。

*転倒事故について、今回はまだ日勤者が残っていたということだが、夜勤者しかいない時、同時に別々の場所に対応が必要になる場合はどうするのか？

→優先順位を考えて介助に入る。まず動く可能性の高い方を先に座ったり入床してもらう。そのように動く状態を減らしてもう一人の介助に入る。

◎事故が起こるのも、想定外のタイミングということがあると思う。完全に無くすのは難しいだろうと思う。(家族より)

◎一人の時間帯でなくても、誰かがいると当てにする心理もあると考えられる。見守りが継ぎ目なくされるようにスタッフ間の連携は欠かせない。(事業所回答)

《実施した行事・研修》 7月～9月

□ほびあ保育園七夕交流会へ参加 7/7

□園芸療法 7月 畑の草取り，鉢上げ

8月 ハーブ・アロマオイルの活用，9月 へちまタワシ作り

□ミニ花火大会 7/20

□サマーボランティア3名受入 7/23-25

□避難訓練 8/11 あやめ棟対象 吉野分遣隊立会いの下，夜間想定で実施。

□中学生対象 認知症サポーター養成講座開催 8/19

○7/13 介護事故・ヒヤリハット記録の検討勉強会

○7/17 中堅・リーダー職員研修（県 GH 協研修）（1名参加）

○8/11 認知症介護教室（1名参加）

○8/17 介護の倫理と法令順守についての勉強会

- 8/29 認知症サポーター養成講座（2名参加）
- 9/1-4 認知症介護実践者研修（1名参加）
- 8/29-9/11 社会福祉振興試験センター海外研修（1名参加）

《事故報告》7月25日～9月13日

ヒヤリハット 12件／事故 2件

内訳…転倒可能性2件／軽度転倒1件／滑落3件／皮膚剥離2件／内出血2件／打撲1件／その他3件

原因と対策

*車いす上からの滑り落ちがあった。日頃ブレーキのかけ忘れには注意しているが、時間が経って座りが浅くなっている状態に対しての確認が甘くなっていたと考える。注意を促していく。

*ベッドへの移乗に際し、介護技術の不足によって利用者を不安にさせないよう、安全な介助方法を常に求めていくよう、実技指導したい。

*転倒骨折による入院があった。夜勤帯に入るタイミングで、残っていた日勤者もおむつ交換とトイレ介助に入り、「待っていてください。」の声掛けしていたが、見守り歩行の状態の方がふらついて転倒した。日中からやや活気があった。

（ご家族は状況の説明に納得されている。）

その場を離れる必要がある際の、スタッフ同士の連携を確実にを行う重要性を痛感している。

議題② 地域交流プロジェクト 実施報告に関連した議論

民生委員から～施設と民生委員協議会との関わりの程度として、お達者クラブに認知症の啓発はしてきたが、子ども世代への視点は持っていなかった。高齢者と児童が互いに見守り・見守られる地域であることが望ましい。

地域包括支援センターから～各コミュニティ内の連携をどのようにしていくかを模索し始めたところである。

《行事予定》 *第5回よしの村秋祭り*

10月25日（日）午後1時から3時30分

出席者；地域包括支援センター,地域代表,家族代表,民生委員,事業所代表等 計6名